

## 私のすすめるこの1冊

平石 隆敏(社会科学科 教授)

### 『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』

今年にはいつて1月19日にロバート・B・パーカー、2月14日にディック・フランシスと、私の好きな作家がたてつづけに亡くなったので、二人の作品について語らせてもらうつもりでいましたが、やめます。

とりあげるのは、いま話題の本『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら・・・』です。もともと高校生の息子のために購入したのですが、彼に渡す前に一気に読んでしまいました。

まずは基礎知識から。ピーター・F・ドラッカーは、『マネジメント』をはじめ企業経営や組織管理に関する多数の著作を残した「経営学の父」と称される人物で、私も名前だけは聞いたことがあります。それが証拠に、『もし高校野球の・・・』は、書店によっては「ビジネス書」に分類されています。

ただし、この本を「経営学や組織経営の勉強」のために読もうとするのは、とても不純なことです。

これは「小説」です。そして、その値打ちのすべては、「野球部のマネージャーになった女子高生が、マネージャーの仕事の勉強のためにと、うっかり買ってしまったドラッカーの『マネジメント』を読んで、甲子園をめざす」という着想の素晴らしさにあります。

彼女は『マネジメント』にしたがって、野球部とはどんな「事業」なのか、野球部の「顧客」とは誰なのか、一生懸命に考えます。「マーケティング」をおこない、野球部を「自己目標管理」でまとめ、そして野球の「イノベーション」をはかっていきます。

この着想こそが、まさに「イノベーション」です。イノベーションは追従者を生みだします。『週刊現代』3月20日号は、「もし鳩山総裁がドラッカーの『マネジメント』を読んだら・・・」という記事を載せました。

それに比べれば、小説としての出来・不出来は二の次です。本当にこの本の通りにやれば組織をうまく運営できるかという疑問も余計です。ただ純粋にミスマッチの妙を楽しむべきです。

その上で、ついでに組織経営の知識もえられれば「二度美味しい」というべきでしょう。あの組織にも、この組織にも、「マネジメント」が欠落していることに、きっと気がつくはずですよ。

さらにもう一つ。著者は、けっしてドラッカーを茶化しているわけではなくて、真面目に信奉している面もあります。しかも、彼はあの秋元康を師匠とあおぎ、そしてAKB48のプロデュースにも関わっていると聞けば、「ウーム」と唸りませんか。

岩崎夏海著 『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』

ダイヤモンド社、2009年 ISBN978-4-478-01203-1、1600円 購入手続き中



## 新入生のみなさんへ



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんの大学生活が実り豊かなものになりますよう、図書館職員一同、心からお祈りします。

さて、大学での授業では、自分でテーマを決めて資料を集め、自分なりの答えを導き出すという主体的な学習・研究スタイルが多くなります。図書館では、みなさんの主体的な学習を手助けできるよう、本や雑誌はもちろん、Web上のデータベースなどの資料を取りそろえております。最初は難しいと思うかもしれませんが、図書館ガイダンスやデータベース利用講習会などでサポートいたします。ぜひご活用ください。

また、学術資料以外に小説や一般雑誌もあります。授業の空き時間にもどうぞご利用ください。

## 図書館からのお知らせ

### 平成22年度の図書館利用証について

#### 非常勤講師、非常勤職員等の方

利用証の年度更新が必要です。附属図書館カウンターでお手続きください。更新手続きが終了するまで、お手持ちの利用証では入館ゲートを通れませんので、ゲートの前で職員に声をおかけください。

#### 卒業生の方

すでに卒業生利用証をお持ちの方は、年度更新が必要です。現住所を確認できる書類をお持ちの上、附属図書館カウンターでお手続きください。更新手続きが終了するまで、お手持ちの利用証では入館ゲートを通れませんので、ゲートの前で職員に声をおかけください。

初めて卒業生利用証を作る方は、現住所を確認できる書類および卒業を確認できる書類をお持ちの上、附属図書館カウンターでお申し込みください。

#### 一般利用者の方

すでに図書館利用証をお持ちの方でも、新年度ごとに新規の利用証の発行が必要です。現住所を確認できる書類をお持ちの上、附属図書館カウンターでお手続きください。また、旧利用証は図書館にご返納ください。

### 「大宅壮一文庫雑誌記事索引 WEB版」が使えるようになりました！

#### 「大宅壮一文庫雑誌記事索引 WEB版」とは？

CiNii(学術雑誌の論文検索データベース)には収録されていることの少ない、週刊誌やファッション誌などの一般雑誌記事を検索できるデータベースです。図書館のトップページからご利用ください。

収録件数は、1988年以降の雑誌記事索引、約300万件です。フリーワード検索の他、特定の人物の記事を探す人名検索機能などもあります。

大学内のインターネット環境ならどこからでもアクセスできますが、全学で1アクセスまでです。他の人が利用しているとログインできませんので、その時はしばらく経ってから再度ログインしてください。また、自分の利用が終わったら必ずログアウトしてください。

## 貸出冊数の変更について

平成 22 年 4 月 1 日より、貸出できる冊数が以下のように変更になります。

	変更前	変更後
学部生	図書 5 冊 + 視聴覚資料 2 点 = 計 7 点まで	図書 7 冊 (視聴覚資料 2 点を含む) = 計 7 点まで
院生 教職員	図書 10 冊 + 視聴覚資料 2 点 = 計 12 点まで	図書 12 冊 (視聴覚資料 2 点を含む) = 計 12 点まで

※貸出期間に変更はありません。  
※一般利用者・卒業生に変更はありません。

本の貸出冊数が2冊多くなります！  
視聴覚資料は2点までで変更ありません。

## ふれあい伏見フェスタについて

4月10日(土)にふれあい伏見フェスタが開催されます。附属図書館では平成15年に書庫で発見された「解体新書」を展示します。日本の数十カ所で「解体新書」が現存していると確認されていますが、この「解体新書」は初版本であり、かなり貴重なものです。ぜひ、この機会にご覧ください。当日図書館は開館していますので、館内も閲覧可能です。

また、図書館長である松良教授の公開講演会「町に生きる小さな生きものたちから学ぶ」が開催されます。13時30分よりF棟F16講義室です。

## 「うた」と「おはなし」の会

春にも下記の日程で開催を予定しています。※詳細は来月号にも掲載します。

日時：平成22年5月9日(日)11時～12時

場所：附属図書館視聴覚室

## ～ 図書館開館スケジュール ～

原則として毎月第1水曜日は館内整理のため休館です。5月は祝日のため、第2水曜日が休館です。

<カレンダーの見方>

日付	9:00～21:00
●	
日付	9:00～17:00
▲	
日付	休館日
休	

2010年 4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				▲	▲	休
4	5	6	7	8	9	10
休	▲	▲	休	●	●	▲
11	12	13	14	15	16	17
休	●	●	●	●	●	▲
18	19	20	21	22	23	24
休	●	●	●	●	●	▲
25	26	27	28	29	30	
休	●	●	●	休	●	

2010年 5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
						▲
2	3	4	5	6	7	8
休	休	休	休	●	●	▲
9	10	11	12	13	14	15
休	●	●	休	●	●	▲
16	17	18	19	20	21	22
休	●	●	●	●	●	▲
23	24	25	26	27	28	29
休	●	●	●	●	●	▲
30	31					
休	●					

休暇貸出の返却期限日は  
**4月12日(月)**です。  
忘れずに返却してください！

学級担任が「気になる」児童生徒についての調査研究(1)  
 - 京都府の小学校学級担任への調査から -  
 学級担任が「気になる」児童生徒についての調査研究(2)  
 - 京都府の中学校学級担任への調査から -

相澤雅文 (特別支援教育臨床実践センター 准教授) 京都教育大学紀要 No. 115 2009年3月

特別支援教育が開始され、3年目が過ぎた。特別支援教育と言う名称がついてはいるが、決してそれは特別なことばかりではなく、日常の学校生活の中で何かしらの特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒に対しての理解・支援の在り方を検討し実践していくことであると理解している。

本論文で取り上げている「気になる」児童生徒とは、知的な発達には顕著な遅れは認められないにもかかわらず「落ち着きがない」「他児とのトラブルが多い」「自分の感情を上手くコントロールできない」などの特徴をもつ集団適応に困難さを示す児童生徒である。

小・中学校の学級担任に「気になる」児童生徒についての調査を行い、小・中学校で特別な教育的ニーズのある児童生徒をどのようにとらえているのかを知る糸口にしたいと考えたのがこの調査研究の始まりである。性差による行動特徴、学年進行における行動特徴、診断名の有無にかかわる行動特徴を視点として「気になる」児童生徒が示している困難さの背景について分析し考察することを目的とした。

学年進行にともない沈静化の傾向を示す行動特徴がある一方、顕在化してくる傾向を示す行動特徴もあり、大きく2つの傾向が示された。小学校の通常の学級の学級担任が「気になる」と感じる児童の85.4%は男子であり、小学校では「気になる」行動の平均得点においてもそのほとんどに有意に高い平均得点が示された。女子は学校生活の中で、他者を巻き込むような目立つ行動は少ない一方で、学年が進むとともに孤立傾向や自尊感情の低下が進み、やがて不登校傾向を示し始めるといった傾向があった。集団適応の困難さは、本人に無理な負荷をできるだけかけず個体特性に対応した適切な対人環境・生活環境の中で徐々に適応力の向上を図るよう働きかけていくことが必要と考えられた。また、診断名の有無にかかわらず何らかの困難さを感じている子ども達に対して「気になる」という段階からの早期からの支援の必要性のあることが示唆された。

京都教育大学リポジトリ「クエリ (KUERE) の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/> で全文をご覧ください。

● 京都教育大学附属図書館ホームページはこちら <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

● 携帯版図書館ホームページはこちら <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>

下記のQRコードからもアクセスできます



京教図書館 News No. 114 (2010年4月号)

発行日：平成22年4月1日

編集発行：京都教育大学附属図書館

内容に関するお問い合わせ先：library@kyokyo-u.ac.jp

